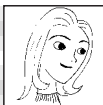


わが家のインターネット奮闘記

Illustration : Sachiko Hiruma



主人公・箱根たまみ
1965年4月生まれ。化粧品会社企画部勤務。ワープロ（書院）所有。パソコンもロータスクらいは使える（入力程度）。パソコン通信未経験。部長からインターネットを勉強しろとせつけられている。



たまみの夫・箱根くに丸
1964年4月生まれ。食品メーカー物流部門勤務。98からマックに乗り換えた口。ASAHIネットの古参会員でパソコン通信歴は長い。インターネットはたまみに言われて最近勉強し始めた。

第3回 新聞に載ってたホームページを見てみたいな!

前号までのあらすじ ① WWW = ホームページを見るには「ぶらうぎ」というものが必要だと知ったたまみ。インターネットマガジン95年12月号のCD-ROMから「ネットスクープ」を持ってきましたが、このバージョンは試用期限が切れていました。今日は、新しいネットスクープを手に入れなければなりません。

新しい「ぶらうぎ」は赤いボタンを押してから

図1



ネットスクープ社のホームページ

このボタン



この間カラオケに行ったら、アンブの上になんとうちのと同じモデムが乗っていて笑ってしまっ。通信カラオケというのは、MIDIというソフトウェア形式になっている曲のデータをダウンロードしてきて、それによってカラオケ屋の機械が演奏しているんだよ。それからいまこれから押そうとしているネットスクープの赤いボタン。その絵柄も、実はGIFとかJPEGとかいうソフトウェア形式の画像データで、いったんうちのパソコンにダウンロードされて表示されているんだ。

図2



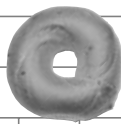
ダウンロードの前にこの質問に答える

今 インターネットのなかの「ネットスクープ」社のホームページにアクセスしています【図1】。試用期限が切れていても不思議なことにネットスクープ社のホームページにだけはアクセスできるのです。前は英文だったのに、今日は日本語。ここは日本のネットスクープ社のページなんじゃないでしょうか。ページの中ほどにある赤いボタンの絵を押せば、最新バージョンの「ネットスクープ」(ver.2.0)という名前のソフトが、うちのマックに、直接電話回線を通して届きます。「ネットスクープ」というのは“物体ではなくソフトウェア(コンピュータ信号の集まり)”だから、信号で送ったり受け取ったりできるんですって。こうやって、電話回線づたいに相手のコンピュータからソフトウェアを取ることを「ダウンロード」というそうで、こういうやり取りはインターネットやパソコン通信をやる人たちの間ではとても頻繁なのだそうです。

つ いでに言うと、ソフトウェアのほかにも絵や音楽が電話回線とってこれるそうです。ただし、絵や音楽を送るにはあらかじめコンピュータ信号に変換されてなくちゃだめだそうです。「じゃ、赤ボタン押すよ」「3、2、1、ゴー! あれ、なんだ、次のページに行っただけじゃない」「ロールプレイングゲームじゃないんだからさ、魔女が出てきたりはしないよ」

赤 いボタンで飛んだページに「NETSCAPE NOW! NETSCAPEソフトウェア・ダウンロード」というタイトルの下に、ダウンロードの注意が簡単に書かれています。ざっと読んでずーっと下のほうに行くと、質問コーナーみたいなのがありました【図2】。





ダウンロードって なかなか終わらないね

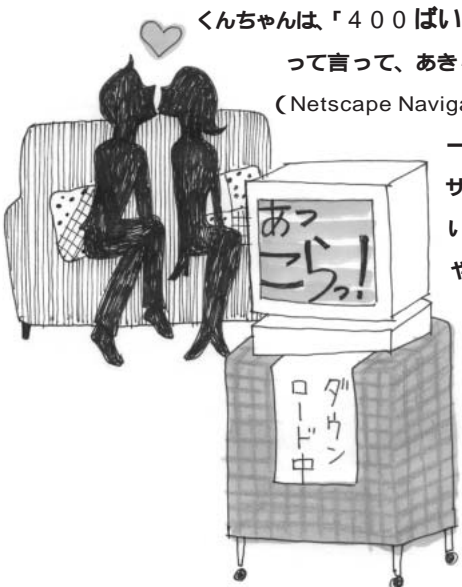


3

ここでほしいネットスケープの条件を選んでいくんだ。まず、1番ではオペレーションシステム(OS)を選ぶ。2番ではぼくたちが住んでるところ

四角い回答欄みたいなどころをくんちゃんがクリックするとあー不思議、隠れてた選択肢がたくさん出てきます。OSの選択肢はウィンドウズ3.1、ウィンドウズ95、マック、それにいろいろな種類のユニックス。うちはもちろん、マックです。住んでるところの選択肢はアフリカ、アジア、オーストラシア(オーストラリアとミクロネシア?)、ヨーロッパ、北米、南米。日本がないじゃんと思ったら、日本でアジアだったんですね。ふーむ、新鮮な感慨。「3番はネットスケープの種類だよ」「けっこういろんな種類があるのね。どれがいいの?」【図3】「インターナショナル・ネットスケープ・ナビゲーターBeta6a-DE,FR,JPっていうのがカッコ良さそうだから、これにしよう。4番目の質問は何語のソフトがいいか。これはジャパン、日本語だね」

全部の項目に答えを埋めて最終欄をクリックしたら、なんだか知らないけど英語の一覧が出てきました【図4】。「これは、うちの条件とびったり一致するネットスケープをもっているサーバーの一覧なんだよ。自分ちの近くのサーバーを選べばいいんだ。インターナショナル・ネットスケープをもってるのはネットスケープ社しかないけど、この間、違う種類のネットスケープを選んだら東京理科大のサーバーがあった」「ふうん」とまあ、ここまではスムーズにいったのですが、しかししかし。ダウンロードって時間のかかること。顔を洗って歯を磨いて戻ってきてもまだ終わってないのです……………。



くんちゃんは、「400ばいと・ぱ〜せこんど、こりゃだめだ」
って言って、あきらめてほかの種類ネットスケープ
(Netscape Navigator 2.0) にするって言ってダウンロード
をやりました。それは日本のサーバーからダウンロードできるから短い
時間ですむんだそうです。50分後。
やっと新しいネットスケープがうちのマックに入り終わりました。

1秒間に400バイトずつダウンロードされているという、伝送の速度を表している。インターナショナルネットスケープの大きさは2.6M(2,600,000)バイト。計算すると6500秒、つまり108.3分かかるということが想像できる。

ネットスケープを選ぶ。2.0が新しいネットスケープの正式版、Goldはホームページを作る機能がついたものだけど未完成。Beta6a-DE,FR,JPは国際版で、ボタンなどが独語、仏語、日本語に翻訳されている。これも暫定版。



ウィンドウズ95はいまだ騒ぎしてるからわかると思うけど、3.1ってのは去年の秋までウィンドウズとして売られていたやつ。これでインターネットにつなぐ人はオタク王と呼ばれるらしい。NTっていうのはLANを引いてる会社なんかで使っているみたいだね。例のコウルサイ奴(本名イシザカ)によれば、95よりも高級なんだそうです。それよりも高級なのがMacOSであります(え?ケンカ売るな?) それよりも偉いというか、そもそものインターネットのしくみを構成しているOSがUNIX。



サーバーってのはコーヒーサーバーのサーバーと同じ言葉だね。つまり情報を配ってくれるコンピュータってわけ。インターネットというのは、実はそのサーバーのパッケージのようなもので、どこかのサーバーとわが家のパソコンとの間をインターネットでつなぐということは、「はっつあん、この手紙を箱根さんへ送っておくれ」「はいきた御隠居。おう熊!これ箱根さんへだつてよ」「よっしゃ、次郎吉、これを箱根さんへ届けな!」……ってな具合になるわけです。このパッケージ担当者が増えればやっぱり時間がかかる。だから自分の家に近いサーバーを選ぶことが大事なんだ。



4

ダウンロードできるサーバー一覧

ネットスケープ以外の所に 行くにはどうすればいいの?

マックでインターネットを始めるために必要なものがそろいました。モデム、「ぶらうざ」という種類のソフト、そして「イニット」という種類のソフト。ここでちょっと復習しますね。ぶらうざはインターネットでホームページを見るのに必要なソフトのことです。ぶらうざにもいろいろな種類がありますが、わが家では「ネットスケープ」というものに決めたのです。「お醤油にもいろいろあるけどわが家は丸大豆」みたいなものです。期間限定とはいえタダで配っているので助かります。いっぽう「イニット」というのは、インターネットの通信方式をうちのマックでも理解できるようにするためのソフト(だと思う)。うちでは「コンフィグPPP」「マックTCP」という2つが必要です。これはラッキーなことにインターネットマガジンの付録CD-ROMに入っていたのが永久に使えるそうです。「ところでさ、ネットスケープ社以外のホームページにはどうやって行けばいいのかな」そうなのです。古いバージョンでも新しいバージョンでも、ネットスケープでインターネットに接続すると、強制的にネットスケープ社のホームページに連れてこられてしまいます。「明日イシザカさんに電話して、ネットスケープ社以外のホームページの見かた、聞いておいてくれる?」「おーし。」

ところが、翌日会社でいつものように「日経流通新聞」で化粧品関連の記事をスクラップしていたとき、すごい発見をしました。22面にある「マルチメディア&通信販売」。ここには、インターネットに関係ある記事がたくさんあって、そのなかに「話題のホームページ」ってコーナーがあったのです。この情報さ

えあれば、インターネットに入らなくてもどんなホームページが面白いかわかるのです。さっそく倉庫からあるだけの新聞のバックナンバーを引っ張り出してきて、スクラップを始めました。「ホームページ笑事典」。コクヨのノートには、ホームページの情報がたくさん並びました。なかでも、「葬式の段取りがくわしくわかる」東京葬祭、「新鮮なコーヒー豆通販」の東京都小平市・永田珈琲倶楽部のホームページにはそそられます。今晩はホームページをたくさん見ようっと。



イシザカによると、ネットスケープ完成版は5,000円くらいするのだが、ネットスケープ社は自社のソフトを広く流布することを目的にしている、ソフトができたらずたで配ってみるそうだ。だから、タダで手に入る。ただし、新しいVer.2.0とてタダ版は試用期限付きだから試用期限が近づくと次々と新しいネットスケープを取りに行かなければならなくて、ちょっとめんどうくさい。



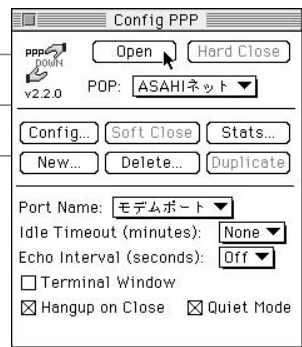
イニットってのは、マックに電源を入れるとすぐに読み込まれる類のソフト。インターネットはマックの土台のOSの機能として外のコンピュータにつなぐ方法なので、OSにそのインターネット機能を付加してやらないといけない。MacTCPというのがまずインターネットの基本形式(TCP/IP: ティーイーピーあーイーピーという)をマックにわからせて、ConfigPPPというものがモデムを使ってインターネットに接続する手順を受け持つ。ちなみにMacTCPは漢字Talk7.5以降のインストールディスクに入っているし、イシザカによればウィンドウズ95にはこの両方の機能が乗っかっているらしい。うーむ。



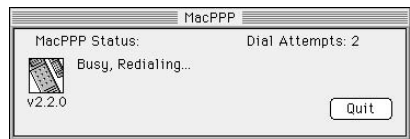
高校生の頃、コクヨのノートを使って箱根流の受験対策自家用参考書を作り始めた。受験会場には完成した全数百頁豪華カバー付きの自家用参考書を携えて行き、周囲を動揺させるはずだった。ところが、3分の2ほどまでできあがった頃、コクヨさんはノートのフォーマットを変えてくれやがった。かくしてスペクタ。それ以来、ノートにしるOSにしる、僕は常にバージョンアップというものに怯えながら仕事をしている。アップル社もマイクロソフト社も、くれぐれもコクヨのようなことはしないように!

このアドレスに電話をかければ行けると思うの

妻「あのね、このホームページに行きたいの。東京葬祭と、永田珈琲倶楽部」
 夫「あ、すごい。たくさんホームページの情報集めたんだ」
 妻「えっへん。ほら、ここにアドレスって書いてあるでしょう。このアドレスに電話をかければ東京葬祭のホームページに行けると思うの」
 夫「アドレスを入れるのはインターネットがつながってからでいいんだよ」
 妻「あら、そうなの」
 夫「じゃ、今日は君が操作してみなさい」
 妻「えー?」(ドキドキ。さっそくマックの電源を入れたら、もう注意されてしまった)
 夫「だめだよ、モデムの電源を入れてからネットスケープを立ち上げなきゃ」
 妻「ちゅー」(いままではくんちゃんやってるのをぼんやりは見てたけど、自分でやるとなると話は別。初めて触れる世界のようなです。こんどはOK)
 夫「まず、この『コンフィグPPP』ってアイコンをダブルクリックして立ちあげる。で、『OPEN』ってところをクリックする」【図5】
 妻「はい。あ、ビジーだって」【図6】
 夫「ASAHIネットが混んでるんだよ。会員の人がたくさんアクセスしてるの」
 妻「あら、ASAHIネットじゃなくてインターネットにアクセスするのよ」
 夫「わが家ではASAHIネットをインターネットの入り口に使ってるの」
 妻「あ、そうだったわね。ややこしいからすぐわかんなくなっちゃう」
 夫「ほら、手つないだ!うちの電話がインターネットにつながると、2本の手の絵が握手するんだよ」【図7】
 妻「人間くさいなあ」

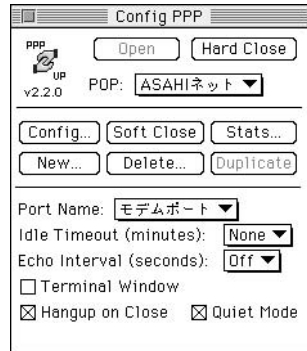


5 インターネットの入り口ASAHIネットに接続



6 電話が混雑していて入れない

7 つながった



8



こうして第一段階でつながったら、その後さらに「ネットスケープ」を立ちあげます。すると、じゃちゃん。インターネットの登場です。画面右上に輝くNの文字(ネットスケープのマーク)の周りには、流れ星がたくさん降り注いでいます【図8】。この流れ星が動いているのは「うちのマックは確かに今、インターネットにつながっていて、遠くのコンピュータの中にあるホームページを読み込んでいます」という証拠なのだそうです(無事、読み終わると流れ星も消えます)。やったあ。初めて自分の手でインターネットができたぞー。マックの画面には「コンフィグPPP」と「ネットスケープ」、2つの画面が共存しています【図9】。2つも画面があるとどっちが消れなくなりますが、これでいいんだそうです。

9



コーヒー屋さんと葬儀屋さんのホームページに行ってみよう!

夫「ほら、この白い細長い空欄。ここにアドレスを入れるんだよ」【図10】
妻「<http://www.bekkoame.or.jp/~tantan/> うーん、の
入力のしかたがわからないから省略するっ」



案の定、見つかりません! って出てきちゃいました。1文字たりともごまかしはきかないみたい。は、うちのキーボードではShiftキーを押しつつ、一番左の一番上のキーを押します。でももっと新しいキーボードでは、アップルキーの右隣だったり一番上の右から3番めだったりするそうです。どれもShiftキーと一緒に押さないといけない。要するに、めったに使わないキーなんですね。その後もピリオドを入れ忘れたり、スペル間違ったり。5回目のトライでやっと永田珈琲倶楽部の絵が出たと思ったら、あれ、文字が読めません。【図11】

夫「ここだ、このOptionsメニューでDocument EncodingのJapaneseを選ぶんだよ。とりあえずAuto-detectを選んでおけば日本語はだいじょうぶだよ」【図12】

妻「あ、変わった」【図13】(くんちゃん、いつの間にそんなこと覚えたのかしら)

夫「お店の内装写真だ。かっこいいお店だねー」

妻「でも、し~んとしているわ、ほかに何も情報がないみたい」

夫「スクロールしてごらんよ」



インターネットの画面は、いつもマックでやってるみたいに上下に画面をスクロールできるのです。出てきました。【図14】「自家焙煎珈琲は、炎と豆と人が出会う浪漫です。ようこそいらっしやませ。あなた様は01357人目のお客様です」01357人目の数字の部分は、電光掲示板のデジタル数字みたいな絵柄になってます。その下には「1400人目、1500人目のお客様へ。達成日時・ご住所・お名前・お電話番号・豆か粉かをE-Mailでお知らせくださいませ。《今月の香り》の新鮮な珈琲豆を記念にお送りいたします」うーん、残念、1400人目にはちょっと遠かった。ずっとスクロールしていくと、グループ店の写真がたくさん載ってます。説明の文字も黒とブルーの2色で、わかりやすい感じ。キーワードというか、大事な言葉がブルーになっているみたい。

夫「そのブルーの文字をクリックしてごらん」

妻「え、どれどれ?」

夫「ブルーの文字だったらどこでもいいから」



すると不思議。ポインターをブルーの文字に合わせると、指の絵が現れるではありませんか。【図14】まるでインターネットの精が「ここ、ここ」と言ってるみたいに。

夫「指の絵が出たところをクリックしてごらん」

妻「あ、画面が変わった」

夫「ハイパーテキストと言って、ブルーで書かれていた事柄の、さらに詳しい情報がでてくるんだ」

妻「すごい。永田珈琲倶楽部やってくれるねー」

夫「別に永田珈琲倶楽部だけの技術じゃないんだよ。これはどこのホームページでも同じ。文字だけじゃなく、写真の上やボタンの絵の上でも、ポインターが突然指の絵に変わったら「これに関するもっとくわしい情報がありますよ」っていう証拠なんだよ」

10

Location: <http://www.bekkoame.or.jp/~tantan/>

ボタンメニューのすぐ下にある「Location」の欄に、今書かれているアドレスをデリートキーで消して書き直す。書いたらリターンキーを押す。

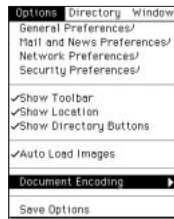
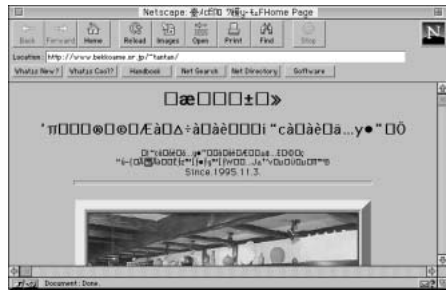
ホームページアドレスの入力法は、ほかに次の2つがある。

上部のOpenボタンを押すと入力欄が開く。書いたらリターンキーを押す。

最上部左端の「File」メニュー「Open Location」を選ぶと入力欄が開く。書いたらリターンキーを押す。

11

永田珈琲倶楽部のホームページ。日本語が読めない。



12

日本語表示のための設定。この後Save Optionsを選んでおくとほかのページへ行ってほしいようぶ。

13

これが正しい永田珈琲倶楽部のホームページ。





マウスで画面を探って、指の絵になったところをクリックしたら、そこには支店の写真と、営業時間、お店のポリシーなどが現れました。新しいページの中にはどこにも指の絵が現れなかったため、もうこれ以上詳しい情報はないようです。前の画面に戻りたいときは、上のほうについている「Back」というボタンを押します【図15】。ほかにもこのホームページには、「珈琲の歴史」という物知り事典的な情報や、「コーヒー豆の販売」などのコーナーがありました。

妻「次行こうよ。お葬儀屋さん」

夫「おーし。アドレスは <http://www.japan.hosting.ibm.com/tokyososai/> っと。あ、これ、アメリカにあるんだな」

妻「どうして？」

夫「アドレスのなかに.com ってあるだろう。これはサーバーのコンピュータがアメリカにあるし。日本にあれば.co.jp になるの」

妻「ふうん(よくわかんないけど、まあいいや) あ、出た！メモリアルネットワーク&TOKYO SOUSAI」【図16】



さっそく『メモリアルネットワーク』ってボタンをクリックすると、日本地図が現れました。お葬儀さんの協力店が全国に散らばっているのがわかります。ブルーの文字の上でポインターが指の絵に変わったのでクリックすると、(株)東京葬祭の式場・営業所案内の画面になりました。建て物の外観と建て物内の式場の写真が3枚。

妻「なんだか、結婚式の式場探し思い出すわね」

夫「新館式場：所在地＝東京都江戸川区西小岩1-7-8。5階建て、4御喪家まで使用可能、各フロア300名、駐車場50台、仮眠可能」

妻「次は『その時あなたは』ってコーナー、見たい」

夫「ここは、家族が死んだときや会社で社葬担当になったとき、何をしたらいいかがわしくまとめられているんだね」



ここは、なかなかの見応えです。とくに、「社葬当日までに決めておくこと」の項目に「故人宅の留守番係」なんてあるのは、とってもリアル。ほかにも「私の葬儀体験」というコーナーも面白そうでしたが、ここは募集案内だけでした。というわけで、「初めてのインターネット」は無事終了。電話代が気になりますが、それは来月のお楽しみということにしましょう。

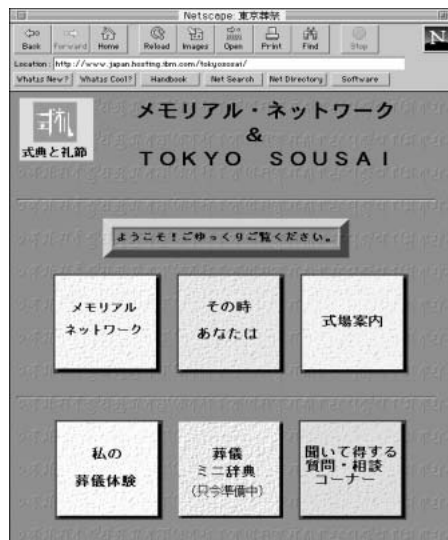


図14 画面の中でマウスポインタが指に変わったところが別のページへジャンプする場所。



図15 ページ移動のためのボタン
Back：前の画面（ページ）に戻る
Forward：先のページに移る
Home：ネットスケープ社のホームページに戻る

図16 東京葬祭のホームページ



箱根家・今月の教訓

- 一、ネットスケープは有効期限が切れたら次のネットスケープをダウンロードしなくてはならない。めんどくさいが評価版だからしょうがない。
- 一、ダウンロードとは、電話回線を伝わって相手のコンピュータからソフトウェアを取ってきて、自分ちのコンピュータに入れること。これは相手が厚意でソフトウェアを公開してくれているので法律違反ではない。
- 一、ネットスケープ社以外のホームページを見るためにはアドレス(URLというらしい)が必要。アドレスというのはアルファベット文字でできていて、たとえば www.japan.hosting.ibm.com./tokyososai/ (意味はまだわからない)
- 一、アドレスはたとえ1字まちがってもしけないし、.や/やもりっぱなアドレスの記号で、無視するとちゃんと「宛名が見当たりません(訳・たまり)」って表示が出てくる。ただし、アドレスは何度もまちがっても訂正して再トライできるし、入力できる最中にまちがったことに気づいたら、デリートキーで訂正できる。
- 一、アドレスは、インターネットにつながってから所定の空欄に入力する。

byたまみ・くに丸



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp